



平成 28 年 1 月 4 日

各 位

会 社 名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小 林 武 司
(コード：2538 東証第二部)
問合せ先 執行役員 財務計画部長 柚 義 継
(電話番号 06-6444-5293)

過年度決算短信の訂正及び平成27年9月期決算短信公表並びに過年度有価証券報告書等
及び内部統制報告書の訂正報告書及び平成27年9月期有価証券報告書の提出に関するお
知らせ

当社は、本日、過年度の決算短信について訂正を行い、その内容を開示するとともに、平成27年9月期決算短信についても開示いたしますので、以下のとおりお知らせいたします。

また、本日、過年度の有価証券報告書等及び内部統制報告書の訂正報告書及び平成27年9月期有価証券報告書を四国財務局長に提出いたしますので、併せてお知らせいたします。

1 訂正の経緯及び理由

(1) 有価証券報告書等及び決算短信等に係る訂正

当社は、当社の会計監査人である栄監査法人の指摘により、当社元代表取締役会長（以下「元会長」といいます。）への便宜が図られている疑義が生じたことから、平成27年8月、当社と利害関係を有しない弁護士に独立調査委員会（第1次）の設置を依頼し、同年10月15日付で調査報告書（第1次調査）を受領しました。その後、当該報告内容を踏まえ、同年11月2日、新たに公認会計士を含めた独立調査委員会（第2次）に類似案件の在否を含めた追加調査（第2次調査）を依頼し、同年12月8日付で調査報告書を受領しました。当初の調査の結果及び第2次調査の結果、以下の事実が判明いたしました。

- ・元会長が自己の資産管理会社を通じて株式を所有していたモリタフードサービス株式会社に対し、当社は、平成24年9月期末の時点で246百万円の債権を有しておりました。同社は、平成24年10月15日に、その保有する資金から、元会長が実質的に支配する盛田アセットマネジメント株式会社に対し260百万円の貸付を行いました。同社の財政状態が著しく悪化していたことから、当社の債権回収が困難となったこと。
- ・本来会社の経費とは認められない私的支出について会社経費としての処理がなされており、また、業務に実態がないと認められる業務委託契約に基づく委託料が支払われていたこと。

加えて、栄監査法人による平成27年9月期決算に係る監査の過程において、当社子会社である盛田株式会社での拡売費の見積り計上額が過少であったとの指摘がなされた件について、当社による検証に加え、独立調査委員会（第3次）の弁護士に法的な側面の検討を依頼し、追加調査（第3次調査）を進めてまいりましたが、平成27年12月18日付で調査報告書を受領しました。当社での検証及び第3次調査の結果、平成26年9月期決算以降、未払拡売費が過少計上されていたことが判明しました。

これに伴い、過年度決算を訂正するため、当社は、本日、過年度の決算短信について訂正を行うとともに、公表が遅延しておりました平成27年9月期決算短信を公表いたします。

また、上記経緯に伴い、当社は、本日、過年度の有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書を提出いたします。併せて、本日、平成27年9月期有価証券報告書を提出いたします。

さらに、上記有価証券報告書及び四半期報告書の訂正と併せて、当社は、本日、訂正に係る有価証券報告書等を組込情報として提出していた有価証券届出書について、訂正届出書を提出いたします。

（2）内部統制報告書に係る訂正

本件の問題の原因としては、元会長による当社グループに対する行き過ぎた”当主”意識と、その影響を受けた取締役会の牽制機能不全があり、その結果、元会長及びその関係者等が関与する取引については、取締役会又は他の各取締役による内部牽制機能が適切かつ十分に働いていなかったこと等が挙げられます。また、拡売費の不適切な過少見積りについては、当社の経営幹部及び盛田株式会社の代表取締役において、会計上の見積りを客観的に適切に行うという経営者の意向及び姿勢に欠ける点があったこと等が挙げられます。

当社としては、具体的には以下のとおり全社的な内部統制の一部に不備があり、その結果、当該不適切な行為を許し、且つ、その発見の遅れが生じたものと認識しており、これらの財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼすこととなり、開示すべき重要な不備に該当すると判断しました。

- ・ 経営者の意向及び姿勢
- ・ 誠実性及び倫理観
- ・ 取締役会及び監査役会の機能発揮
- ・ リスクの評価
- ・ 情報伝達
- ・ 内部通報制度

当社は、財務報告に係る内部統制の重要性を認識しており、独立調査委員会の報告等を踏まえ、以下の再発防止策を講じてまいります。

- (Ⅰ) 経営体制の一新
- (Ⅱ) 業務委託契約等の見直し
- (Ⅲ) 内部統制の再構築
 - ・ 関連当事者との取引に関する手続規程の策定等
 - ・ 内部牽制機能の強化
 - (人事の独立性、全社統制の再構築、内部監査の強化、内部通報制度の見直し)
- (Ⅳ) 社内教育・啓蒙活動の実施、人事制度その他の制度運用の改善
- (Ⅴ) コンプライアンス制度の見直し

以上を踏まえ、当社は、本日、過年度の内部統制報告書の訂正報告書を提出いたします。また、本日付「財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ」にてお知らせいたしますとおり、本日四国財務局長に提出いたします平成27年9月期の内部統制報告書に、開示すべき重要な不備があり当社グループの財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたします。

2 本日提出する訂正報告書、訂正届出書及び訂正を行う決算短信等

(1) 本日提出する訂正の対象となった有価証券報告書及び四半期報告書

- ①有価証券報告書 第76期 (自平成23年10月1日 至平成24年9月30日)
- ②四半期報告書 第77期 第1四半期 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
- ③四半期報告書 第77期 第2四半期 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
- ④四半期報告書 第77期 第3四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
- ⑤有価証券報告書 第77期 (自平成24年10月1日 至平成25年9月30日)
- ⑥四半期報告書 第78期 第1四半期 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
- ⑦四半期報告書 第78期 第2四半期 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
- ⑧四半期報告書 第78期 第3四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
- ⑨有価証券報告書 第78期 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)
- ⑩四半期報告書 第79期 第1四半期 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
- ⑪四半期報告書 第79期 第2四半期 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
- ⑫四半期報告書 第79期 第3四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

(2) 本日提出する訂正の対象となった内部統制報告書

- ①内部統制報告書 第76期 (自平成23年10月1日 至平成24年9月30日)
- ②内部統制報告書 第77期 (自平成24年10月1日 至平成25年9月30日)
- ③内部統制報告書 第78期 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)

(3) 本日提出する訂正の対象となった有価証券届出書

①訂正届出書（有価証券届出書の提出日：平成26年10月10日）

②訂正届出書（有価証券届出書の提出日：平成27年3月20日）

③訂正届出書（有価証券届出書の提出日：平成27年6月12日）

（4）本日訂正を行う決算短信等

①平成24年9月期 決算短信（自平成23年10月1日 至平成24年9月30日）

②平成25年9月期 第1四半期決算短信（自平成24年10月1日 至平成24年12月31日）

③平成25年9月期 第2四半期決算短信（自平成25年1月1日 至平成25年3月31日）

④平成25年9月期 第3四半期決算短信（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

⑤平成25年9月期 決算短信（自平成24年10月1日 至平成25年9月30日）

⑥平成26年9月期 第1四半期決算短信（自平成25年10月1日 至平成25年12月31日）

⑦平成26年9月期 第2四半期決算短信（自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）

⑧平成26年9月期 第3四半期決算短信（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

⑨平成26年9月期 決算短信（自平成25年10月1日 至平成26年9月30日）

⑩平成27年9月期 第1四半期決算短信（自平成26年10月1日 至平成26年12月31日）

⑪平成27年9月期 第2四半期決算短信（自平成27年1月1日 至平成27年3月31日）

⑫平成27年9月期 第3四半期決算短信（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

3 訂正の会計処理及び過年度業績への影響

連結財務諸表及び財務諸表において、モリタフードサービス㈱に対する債権については、平成25年9月期にその全額に対して貸倒引当金を計上しておりましたが、その一部を平成24年9月期に遡って計上することといたしました（平成24年9月期：貸倒引当金（流動）：18百万円、貸倒引当金（固定）：152百万円）。また、会社の経費とは認められない個人的支出額については、「販売費及び一般管理費」から当該個人に対する債権として「長期未収入金（投資その他の資産「その他）」に振替計上（平成24年9月期：5百万円、平成25年9月期：2百万円、平成26年9月期：3百万円、平成27年9月期第3四半期累計期間：5百万円）、業務実態が認められない業務委託契約に基づく委託料の支払い額等については、「販売費及び一般管理費」から「営業外費用「その他」」に振替しております（平成24年9月期：6百万円、平成25年9月期：1百万円、平成26年9月期：10百万円、平成27年9月期第3四半期累計期間：0百万円）。

前述の個人的支出の振替額を含む、当該個人への債権残高である「長期未収入金」については、回収可能性を検討した結果、回収不能債権として「貸倒引当金」を計上するとともに（平成24年9月期末：8百万円、平成25年9月期末：12百万円、平成26年9月期：16百万円、平成27年9月期第3四半期末：22百万円）、その他必要な訂正を行っております。

加えて、過少見積りとなっていた販売費については、過少部分を「未払販売費（流動負債「その他）」に追加計上し、同額を売上高から控除しております（平成26年9月期：9百万円、平成27年9月期第3四半期末：8百万円）。

なお、今回の訂正にあたっては、過年度において重要性がないため訂正を行っていなかった事項及び今回の監査の過程において新たに発見された事項の訂正も併せて行っております。

今回の訂正による過年度連結業績及び個別業績への影響につきましては、別紙記載のとおりであります。

以上

【連結財務諸表】

(単位：百万円)

期 間	項 目	訂正前	影響額	訂正後
第 76 期 (平成 24 年 9 月期) 通期	売上高	26,318	-	26,318
	営業利益	578	2	581
	経常利益	250	△ 190	60
	当期純利益	△ 693	△ 190	△ 884
	総資産	29,239	△ 175	29,063
	純資産	7,879	△ 190	7,689
第 77 期 (平成 25 年 9 月期) 第 1 四半期	売上高	7,883	-	7,883
	営業利益	589	15	604
	経常利益	518	22	541
	四半期純利益	344	20	365
	総資産	30,329	△ 172	30,156
	純資産	8,300	△ 169	8,131
第 77 期 (平成 25 年 9 月期) 第 2 四半期	売上高	13,361	-	13,361
	営業利益	324	25	350
	経常利益	△ 147	114	△ 32
	四半期純利益	△ 266	111	△ 154
	総資産	28,682	△ 89	28,592
	純資産	7,660	△ 78	7,581
第 77 期 (平成 25 年 9 月期) 第 3 四半期	売上高	19,465	-	19,465
	営業利益	238	27	265
	経常利益	△ 306	114	△ 191
	四半期純利益	△ 526	111	△ 415
	総資産	28,941	△ 90	28,851
	純資産	7,388	△ 79	7,308
第 77 期 (平成 25 年 9 月期) 通期	売上高	25,273	-	25,273
	営業利益	△ 42	△ 15	△ 58
	経常利益	△ 699	148	△ 551
	当期純利益	△ 5,012	148	△ 4,864
	総資産	23,462	-	23,462
	純資産	3,059	△ 42	3,017

【連結財務諸表】

(単位：百万円)

期 間	項 目	訂正前	影響額	訂正後
第 78 期 (平成 26 年 9 月期) 第 1 四半期	売上高	7,544	-	7,544
	営業利益	493	15	508
	経常利益	371	16	387
	四半期純利益	325	15	340
	総資産	25,150	△ 5	25,145
	純資産	3,381	△ 26	3,354
第 78 期 (平成 26 年 9 月期) 第 2 四半期	売上高	13,357	-	13,357
	営業利益	316	10	327
	経常利益	163	10	174
	四半期純利益	109	10	119
	総資産	23,258	△ 9	23,249
	純資産	3,168	△ 31	3,136
第 78 期 (平成 26 年 9 月期) 第 3 四半期	売上高	19,269	-	19,269
	営業利益	326	9	335
	経常利益	68	9	77
	四半期純利益	2	8	10
	総資産	23,092	△ 9	23,083
	純資産	3,066	△ 33	3,032
第 78 期 (平成 26 年 9 月期) 通期	売上高	25,113	△ 10	25,102
	営業利益	414	16	431
	経常利益	53	△ 2	50
	当期純利益	193	△ 6	186
	総資産	22,876	△ 17	22,858
	純資産	3,409	△ 49	3,360
第 79 期 (平成 27 年 9 月期) 第 1 四半期	売上高	7,219	-	7,219
	営業利益	423	33	457
	経常利益	349	36	386
	四半期純利益	312	20	333
	総資産	24,519	△ 11	24,508
	純資産	4,259	△ 28	4,230

【連結財務諸表】

(単位：百万円)

期 間	項 目	訂正前	影響額	訂正後
第 79 期 (平成 27 年 9 月期) 第 2 四半期	売上高	12,615	Δ 3	12,612
	営業利益	311	74	386
	経常利益	146	74	220
	四半期純利益	116	46	162
	総資産	22,376	Δ 17	22,359
	純資産	3,941	Δ 2	3,939
第 79 期 (平成 27 年 9 月期) 第 3 四半期	売上高	18,565	1	18,566
	営業利益	388	69	457
	経常利益	124	67	191
	四半期純利益	45	63	109
	総資産	23,126	Δ 16	23,110
	純資産	5,089	14	5,104

【個別財務諸表】

(単位：百万円)

期 間	項 目	訂正前	影響額	訂正後
第 76 期 (平成 24 年 9 月期) 通期	売上高	1,644	-	1,644
	営業利益	516	-	515
	経常利益	392	Δ 179	212
	当期純利益	Δ 958	Δ 179	Δ 1,137
	総資産	20,490	Δ 171	20,318
	純資産	4,511	Δ 179	4,331
第 77 期 (平成 25 年 9 月期) 通期	売上高	1,369	-	1,369
	営業利益	265	Δ 13	252
	経常利益	Δ 88	157	68
	当期純利益	Δ 831	157	Δ 674
	総資産	18,452	8	18,461
	純資産	3,680	Δ 22	3,657
第 78 期 (平成 26 年 9 月期) 通期	売上高	1,012	-	1,012
	営業利益	Δ 108	Δ 2	Δ 110
	経常利益	Δ 317	Δ 13	Δ 330
	当期純利益	Δ 314	Δ 13	Δ 327
	総資産	17,462	Δ 5	17,456
	純資産	3,365	Δ 36	3,329